



6月10日は時の記念日だそうです。歳をとるにつれ一日があっという間で一年が早く過ぎると感じるのは何故なのでしょう。これは『年月の長さは年少者にはより長く、年長者にはより短く感じられる』という現象で「ジャンーの法則」と言われています。そういえば、子どもの頃には一年が長く感じられ、次の誕生日が待ち遠しく思ったものです。時の記念日にちなみ、6月は時間の大切さをあらためて考えるきっかけにしてみたいはいかがでしょうか。変わらない毎日の中でも、誰と過ごし何をしたか、会いたい人に逢えたか、笑顔で過ごせたかということ大切に、時を刻んでいけたらいいですね。

日光市民活動支援センターからの **お知らせ**

- 《会議室をご予約の方へ》 予約キャンセルの際は、予約日前日までにセンターまでご連絡をお願いいたします。当日キャンセルになる場合も速やかにご連絡ください。
- 《駐車場ご利用の方へ》 第1駐車場が満車の際は、安全のため駐車場の枠外や点字ブロックの近くにはお停めにならないようお願いいたします。第2駐車場（郵便局前）又は第3駐車場（郵便局裏）をご利用ください。
- 《第3駐車場について》 第3駐車場につきまして、工事の関係で今年の秋頃まで書庫の前は駐車禁止となります。書庫の前やパールの近くにはお停めにならないようご協力をお願いいたします。



センターでは 団体の運営の一助となる

助成金や補助金の情報を発信しています

助成金を活用することにより、団体の活動の幅を広げることができます。助成金の情報は、センター内に掲示またはセンターHPからご覧いただけます。随時新しい情報を掲載していますので、是非チェックしてみてください!

また、助成金についてのご相談にも応じています

なのでお気軽にスタッフまで😊

[アクセスはこちら→](#)



●助成金を活用してこんなことができます。

車両や機器の購入

新たなイベントやプロジェクトの開発・実現

施設の改修

人材の育成

啓発活動

●その結果、このような効果が期待できます。

団体や活動の発展・成長

社会課題の解決

団体の信頼度の向上

例えば、6月にはこのような助成金を掲載しています

「つなぐ助成」(公益財団法人つなぐいのち基金) 社会的ハンディキャップを抱えた子供達を支援する活動のための助成。

「赤い羽根 おうえんプロジェクト」(社会福祉法人 栃木県共同募金会) 公的な制度では解決できない社会・地域課題に取り組む活動のための助成。

能登半島地震の募金箱「4/25：33,069円」「5/24：20,021円」を日光市社会福祉協議会様へお渡ししました。ご協力ありがとうございました。

☆キミもヒーロー!!☆
体験型RPGゲーム(仮)

体験を通してボランティアの心を育むイベントを開催予定!
「困っている人がいたら、キミならどうする?」(仮)

☆日時☆ 7月25日(木) 10:00～11:45ごろ

☆場所☆ 日光市民活動支援センター

☆対象☆ 小学1年生～6年生

★主催★ 日光市民活動支援センター

お申し込みや詳細については、センターまでお問い合わせ下さい。

参加無料

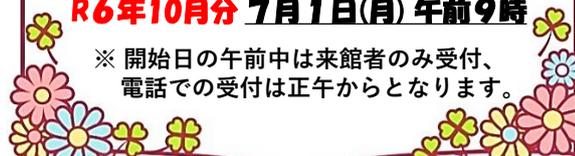


センター会議室予約
受付開始日時のお知らせ

R6年9月分 6月1日(土) 午前9時

R6年10月分 7月1日(月) 午前9時

※ 開始日の午前中は来館者のみ受付、
電話での受付は正午からとなります。



☆登録団体さんの活動を紹介します☆

～ 好きです♡笑顔の日光 ～

スマイル日光プロジェクト



スマイル日光プロジェクトさんは、日光市内で活躍する企業の経営者の方たちが「日光市のために貢献したい」という思いで、地域課題の解決を目的として活動されている社会貢献プロジェクト団体です。会長の小栗さんが2011年に起きた東日本大震災の被災地を訪れた際、大変な中でも復興に向け取り組む被災者の方たちの姿に心をうたれ、頑張っている人たちの笑顔を増やしていきたいという思いで、日光青年会議所の仲間と共に2014年9月に発足しました。2024年現在、29社の企業が賛同し参加されています。

主な活動として、参加企業が販売する商品の売上げの一部を寄付する「寄付つき商品プロジェクト」があります。集まった寄付金は社会貢献活動をしている市内の団体へ助成金として支援されます。小栗さんは、「日光の様々な課題に対して現場で行動を起こすことで改善していきたい。新しい方法を取り入れたり、多方面で色々なアクションを起こすことで周りにも良い影響が広がっていくことを期待しています。」と話されていました。

また、専門家のスキルを活用してボランティアをする「プロボノプロジェクト」という活動も行なっています。5つの課題である【①生活困難者 ②高齢者 ③子育て世代や青少年 ④環境保全 ⑤災害復旧・復興】のうち③の支援として、2017年よりNPO団体と連携し、子ども食堂や朝食応援・啓発イベントを開催しています。また教育機関と連携し、子どもたちに企業の持つスキルを通して様々な学びや気付きを与えるマイチャレや、校外学習の受け入れも行っています。

「将来、子どもたちに日光市で働きたいと思ってもらえるように」と願う小栗さん。今後の目標を伺うと、「私たちの思いを若い経営者の方たちへ繋いでいきたい。そして地域の課題に対して、若い世代と一丸となり取り組んでいきたい。『好きです♡笑顔の日光』をモットーに、様々な団体と繋がり、時には中間支援となり日光の笑顔を増やしていきたい。」と笑顔で話されていました。この度はお話を聞かせていただき、ありがとうございました😊



スマイル日光プロジェクト ホームページ
<https://smilenikko.jimdofree.com>



にっこっ！なお話

初夏のような日差しがそそぐいつもの散歩道。春はあっという間に過ぎ去り暑い日々が続いていますが、皆様体調は如何ですか？

「いいですね！素晴らしい！そのポーズ出来ているから大丈夫。あと少しガンバリましょう。」これはヨガの先生からの激励の声掛けです。コロナ過で体を動かさなくなった生活習慣が定着し体調を崩してしまい、そんな中始めたのがヨガです。(鶴太郎さんの様な本格的なものではなくシニア用のゆる～いヨガですが…)

週1回さまざまなポーズや瞑想・呼吸法などを行うことによりストレスから解放され、カラダもココロも健康でベストな状態になりつつあります。これからも好きな趣味や旅行など楽しみたいので、そのためにも健康をこれまで以上に心がけ「バランスの良い食事と運動」を続けていきたいと思っています。

O谷でした。

😊取材希望の団体さんを募集しています😊

あなたの団体の活動をPRしませんか？

取材をお受けいただける団体さんがいましたら、お気軽にセンターまでご連絡ください♪

